

日本共産党杉並区議会議員

くすやま美紀(樟山みき)活動報告

2018. 5. 30 NO. 222

連絡先 荻窪5-15-19-704 電話・FAX 5932-6170

区議会控室 3312-2111(内)2319



杉並区議会第2回定例会はじまる

国民健康保険料の負担軽減へ 議員提案！

5月29日から杉並区議会第二回定例会が始まりました。日本共産党杉並区議団は、今定例会に多子世帯の国民健康保険料の負担軽減を図る条例提案を行います。

今年度も国保料は値上げ 毎年の負担増は限界に

先の区議会第一回定例会では、区長から提案された国民健康保険料の値上げ議案が、自民、公明、未来（民進・立憲民主等が所属）等の与党会派の賛成多数で可決されました。日本共産党と一部の少数会派は反対しました。

値上げが強行された結果、一人当たり平均3547円の値上げとなり、6月には各家庭に値上げ通知が発送されます。

この間、国保料は毎年値上げが続いており、その負担は加入者世帯のくらしに重大な影響を及ぼしています。

なかでも、子育て世帯など扶養家族が多い世帯に負担が集中し、家族が一人増えるだけで年間の負担は約5万円も増加となります。



第1回区議会定例会一般質問でも、多子世帯の均等割額の軽減策を提案

議員提案条例の内容

■提案理由

国民健康保険料の内、18歳以下の子どもが3人以上いる世帯の第3子以降の子どもにかかる均等割り額を免除し、多子世帯の経済的負担を軽減する。

■他自治体等の状況

全国知事会など地方団体が見直しを要求。特別区長会は「子育て世帯の経済的負担を軽くするため、国の責任において区市町村の補助制度に対する財政措置を講じること」と要望。東大和市が先行して実施。

■杉並区で実施した場合の試算

杉並区の対象世帯は439世帯、対象人数は538人。予算額は約2743万円。

(H30年度ベース)

負担軽減の第一歩を 全議員に呼びかけ

党区議団が提案を予定している条例案は、多子世帯などの保険料を高騰させる重大要因となっている「均等割」について、第3子以降を無料にし、子育て世帯の負担軽減を図るといったものです。

「均等割」による保険料負担軽減については、特別区長会からも国の責任で実施するよう要望が上がっていますが、国は対応していません。国への問題提起も含めて区独自に実施することを求めます。

議員提案条例は、区議会の全会派・議員に共同提案を呼びかけました。条例の成立に向けて、全力を尽くす決意です。

お困りごと、ご相談は、上記連絡先まで、お気軽にお電話ください

「区立施設再編整備計画」は見直しを

開会中の区議会定例会で、日本共産党の富田たく議員は「区立施設再編整備計画」について一般質問に立ちました。

**「あんさんぶる荻窪がなくなって困っている!」
悲痛な声が次々**

田中区政のもとで、区民の大切な財産である区立施設の廃止・縮小が次々と強行されています。

3月に廃止となった「あんさんぶる荻窪」。施設内にあった荻窪北児童館の代わりに、期間限定で保健所4階に「おぎきた子どもプレイス」が設置されましたが、児童や保護者からは、次のような声が寄せられています。

- ◆「あんさんぶる荻窪がなくなり、子どもが家から出なくなり困っている」
- ◆「あんさんぶるの児童館には行きたがっていたのに、子どもプレイスには一度行ったら行きたがらなくなった」
- ◆「子どもプレイスは日曜日が休館のため、父親と遊びに行けなくなった」

富田議員は、こうした声を紹介し、「地域住民の声に聞く耳を持たず、強引にあんさんぶる荻窪を廃止した結果、子どもたちに多大な犠牲が強いられている」と指摘し、区の認識を質しました。

区は「地域全体として子どもの居場所機能の拡充を図っている」等と答弁しましたが、子どもや保護者の悲痛な声に対する明確な認識は示しませんでした。

**区の人口は減るところか
増加。施設削減はやめよ**

区が、施設削減の根拠の一つにしているのが、2013年版の社人研の人口推計です。ここでは、区の人口は、今後30年間で12万人の人口減少とされています。しかし、最新版の社人研の人口推計では、人口は減るところか、30年後には3万人も増加となるとしています。

富田議員は、計画で採用していた社人研の人口推計が大幅に変わったのだから、「人口が減るから施設を削減する」という考え方は見直すべきと迫りました。

区は「将来的には人口全体が減少に転ずることが見込まれる」として、施設の統廃合を推し進める姿勢に終始しました。

施設のあり方は住民・利用者とともに

公共施設は、住民福祉を支える重要な役割を持っています。施設ごとのあり方は、利用者、住民とともに考えていくべきと求めました。

区政の私物化止め、くらし第一の区政に!



小池あきら参議院議員(右)もかけつけました

5月27日、阿佐ヶ谷駅前で、日本共産党の街頭演説会が行われました。
区議補選をたたかう野垣あきこ候補は、「ひとりひとりの人権が尊重される社会をつくりたい」と決意表明。保育の充実、国保料の値下げなど、「命とくらしを守れる願いを、私に託してほしい」と訴えました。
三浦ゆうや区長候補は、区立施設の廃止や公園つぶしの問題など、国民の声を無視する安倍政治と同じことが杉並区政でも起こっていると述べ、「区民の声に耳を傾けるくらし第一の区政に変えたい」と決意を語りました。